

「在宅医療推進のための看護師育成プログラム」受講者募集要項

(T - HOC ナース育成プログラム)

これからの日本の医療は、訪問診療や訪問看護の方向へ大きく舵をきり、住み慣れた自宅で安心して暮らすことができる地域包括ケアシステムおよびコミュニティ文化再構築が急がれています。今後ますます、患者の退院後の生活をイメージしながら入院中からセルフケア支援ができる病院看護師、在宅療養者の医療処置管理や薬剤管理などの高度な知識や技術を備えた訪問看護師が必要とされます。

そこで、鳥取大学医学部附属病院医療スタッフ研修センターでは、訪問看護への関心を深め、訪問看護能力を強化することができる3つの看護師育成コースを開設しました。在宅生活志向をもつ看護師育成コース、病院で働く看護師が患者の生活をイメージする力を強化することにより訪問看護への関心を高めるコース、そして、地域で訪問看護を担う人材への継続教育を行うことで訪問看護実践能力を高めるコースです。

現在の職場に勤務しながらでも学ぶことができるプログラムで、修了者には鳥取大学医学部附属病院より修了証が交付されます。

なお、本事業は鳥取県からの補助を受けて行うため、受講にかかる費用は不要です。

○コース概要

	I 在宅生活志向をもつ 看護師育成コース	II 在宅医療・ 看護体験コース	III 訪問看護能力 強化コース
目的	病院勤務看護師の在宅生活志向を高める	在宅を見据えた看護実践の強化や地域連携の技術取得	訪問看護師に必要な技術強化
対象	病院勤務看護師 基礎コース 40名 実践コース* 8名 ※平成29年度基礎コース修了者が受講	3年目以上の看護職 30名 (准看護師を含む)	I、IIコース修了者、訪問看護経験者、潜在看護師、その他訪問看護の能力強化を目指す看護職 8名 (准看護師を含む)
内容	基礎コース(2年間)、実践コース(1年間)の計3年間 基礎コース:集合研修やディスカッション、年間を通じて課題を提出し在宅意識を高める 実践コース:訪問看護ステーションや訪問診療同行実習等により現場体験や課題提出、振り返りを行う	集合研修及び訪問看護ステーション実習・退院後の家庭訪問等を体験する(半年間で集合研修を含め3~4回)	在宅医療処置管理等について講義及び演習、事例検討によるグループディスカッション、課題提出、訪問看護ステーション実習等(1年間) ※勤務等を考慮し柔軟に対応するオーダーメイド型研修。 <u>*インターネットを利用した遠隔地受講システム(UCS)での受講も可</u>

*本事業は平成30年度までの5年間で計画されています。平成31年度の予定につきましては現在のところ未定ですのでご了承ください。

I 在宅生活志向をもつ看護師育成（Home Oriented Care : HOC）コース

基礎教育で学んだ在宅生活志向の看護は、病院就職後に中断され再教育の機会に乏しいです。そこで、基礎教育の在宅看護論を、Home Oriented Care（病院内における対象者の在宅生活を志向したケア、以下 HOC という）の概念に発展させて、継続教育を行うことで、対象者のこれまでの生活と退院後のこれからの生活を見据えた看護を実践することができる看護師を育成します。

本コースには、入職後 2 年以内の看護師を対象とする基礎コースと基礎コース修了者を対象とした実践コースの 2 つのコースがあります。

1. 基礎コース

募集人数：40名

対象：病院看護師（入職後 2 年以内）

期間：2 年間（平成 30 年 5 月～平成 32 年 3 月）

但し 2 年目にあたる平成 31 年度の予定につきましては現在のところ未定です。

目的：病院勤務看護師の在宅志向を高める

1. これまでの生活とこれからの生活を意識し、対象者と関わるができる。
2. 在宅生活志向をもちながら、HOC の看護実践ができる。

	時期	方法	テーマ・内容
入職 1 年目	5 月		開講式
	5 月	個人課題	このコースへの思い
	6 月	集合研修	在宅志向はなぜ必要か
	6 月	個人課題	在宅生活志向とは・今年度の私の目標
	9 月	セミナー	T-HOC ひのセミナー
	10 月	セミナー	T-HOC 特別セミナー
	11 月	個人課題	自分の病院の退院支援について知る
	12 月	集合研修	退院支援システム
	1 月	個人課題	私が行った退院支援
	2 月	集合研修	退院支援に必要な視点
	2 月	個人課題	2 年目の私の目標
	3 月	セミナー	T-HOC 特別セミナー
入職 2 年目	6 月	集合研修	退院後の生活と地域資源について
	6～9 月	個人課題	受持ち患者への外来受診時インタビュー
	9 月	セミナー	T-HOC ひのセミナー

	10月	セミナー	T-HOC特別セミナー
	12月	集合研修	在宅生活志向による看護の実践
	1月	個人課題	このコースを受けて実践していること/今後の課題
	3月	セミナー	T-HOC特別セミナー
	3月		修了式

2. 実践コース

募集人数：8名

対象：平成29年度に基礎コースを修了した者

期間：基礎コース修了後の1年間

目的：①病院勤務看護師が在宅生活志向を高める

②訪問看護の実際を体験する

	時期	方法	テーマ・内容
入職 3年目	5月		開講式
	5月	集合研修	訪問看護制度と訪問看護師の機能・特性
	6月	集合研修	患者中心の地域連携のための地域資源について
	6～11月	実習	訪問看護ステーション実習・・・5日間
	10月	実習	地域包括支援センター実習・・・1日間
	6～11月	実習	訪問診療同行実習・・・1日間
	6～10月	実習	退院支援実習
	9月	セミナー	T-HOCひのセミナー
	10月	セミナー	T-HOC特別セミナー
	11月		実習後のふりかえり
	2月	集合研修	在宅生活志向の看護の実践に向けて
	3月	セミナー	T-HOC特別セミナー
	3月		修了式

各コースの修了者には、修了証を発行します

3. 病院・訪問看護ステーション間の出向・人事交流

[出向]

募集人数：3名程度

対象：平成29年度にIコース（基礎・実践コース）を修了した者

資格・条件：看護師臨床経験3年以上

クリニカルリーダーレベルⅡ～Ⅲ

期間：原則1年間 最長2年間（派遣先施設との協定により個別に対応）

目的：①訪問看護師の人員確保

②施設間の連携を強化する

③病院勤務看護師が在宅志向を高める

内容：訪問看護ステーションでの看護業務

出向先の訪問看護ステーションは3施設であり1施設1看護師とする

出向後は出向前の籍に戻り院内認定「退院支援ナース」等として承認し
職場で活動する。

[人事交流]

未定

Ⅱ 在宅医療・看護体験コース

地域完結型医療において、病院で働く看護職に求められる能力、すなわち、患者が地域で療養できるよう入院中から支援することができる人材育成を行います。退院後の生活をイメージし、病気を抱えながらも地域で生活できるよう入院中から様々なケアを提供できる看護師を育成します。「患者の生活をイメージする力」を強化することにより、訪問看護についての関心や知識を深め、訪問看護師としての就労も自らのキャリアコースの一選択肢として考えることができるようになります。

募集人数：30名

対 象：勤務3年目以上の看護師（准看護師を含む）

期 間：半年間（平成30年5月～平成30年10月 平成31年3月修了式）

目 的：入院中の患者が地域で療養できるように意識した看護師の支援について理解する。

1. 退院後の患者の生活をイメージする力を養成する
2. 訪問看護師が在宅療養者および家族に対して果たす役割・機能・特性を理解する。
3. 患者が療養の場を移行する際に看護の継続性を重視したマネジメントができる。
4. より質の高い医療を推進するために、多職種と協働しチームの一員として役割を果たすことができる。

在宅医療・看護体験コース修了後、訪問看護師としての就労を希望する病院看護師は、引き続き訪問看護職員養成講習会（鳥取県看護協会）の受講、あるいは訪問看護実践能力強化コースを受講し、訪問看護師としてのキャリアアップをめざします。

時期	方法	テーマ・内容
5月		開講式
5月	集合研修	在宅療養に必要な知識を深める
6月	集合研修	地域を基盤にした看護実践を知る
6～10月	個人課題	退院後家庭訪問実習 <ul style="list-style-type: none"> ・入院中受け持っていた患者が退院（自宅・施設）した後に、訪問をする。 ・退院後の患者の生活を視野に入れた看護ケアとして入院から必要であったことについて思考する。
6～8月	個人課題	訪問看護ステーション実習 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県内の訪問看護ステーションで、訪問看護師に同行し、実際の訪問看護を体験する。 ・2日間の実習（訪問看護ステーションの都合により日程を調整する） 同じ施設内の訪問看護ステーション実習も可能
8月		実習の振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーション実習を終了してから実施
9月	宿泊研修	T-HOCひのセミナー
10月	セミナー	T-HOC特別セミナー
10月	集合研修	地域包括ケアシステムでの看護の役割と機能を考える
3月	セミナー	T-HOC特別セミナー
3月	修了式	修了式

修了者には、修了証を発行します。

Ⅲ 訪問看護能力(Visiting Nursing competency : VNC)強化コース

訪問看護に求められるスキルの高度化に対応するために、地域で訪問看護を担う人材への継続教育を行うものです。在宅療養者および家族に対して、熟練した看護技術を用いて、水準の高い看護が実践できる看護職者を育成します。また、本コースは、訪問看護師としての再就職を希望する潜在看護師への復職支援プログラムの一部でもあります。

募集人数：8名

対 象：HOC 実践コース修了者、在宅医療・看護体験コース修了者、訪問看護経験者、訪問看護師としての再就職を希望する潜在看護師、その他訪問看護能力の強化を目指す看護師（准看護師を含む）

期 間：1年間（平成30年5月～平成31年1月 平成31年3月修了式）

目 的：訪問看護師に必要なスキルの強化

1. 在宅療養者及び家族を全人的に捉え、専門的な知識と質の高い看護を提供できる。
2. 在宅療養者が療養の場を移行する際に、医療と介護の連携、看護の継続性を重視したマネジメントができる。
3. より質の高い医療を推進するため、多職種と協働しチームの一員として役割を果たすことができる。
4. 地域包括ケアシステムを効果的に活用した療養者支援の質向上のため、看看連携におけるリーダーとして地域の人材育成の役割を果たすことができる。

内容及び方法：

在宅医療処置管理等についての講義及び演習、事例検討によるグループディスカッション、課題提出等により能力強化を図ります。

受講者の経験、勤務等を考慮し柔軟に対応するオーダーメイド型研修です。

また、インターネットを利用した遠隔講義システム「UCS (Unified Communication System)」を導入し、東部・中部の拠点とした施設で、講義の一部が受講できます。

1. 研修目的に応じた講義、演習、実習を行う。
2. 本プログラム独自開催の講義に加えて以下の講義も受講できます。
 - ・鳥取大学医学部附属病院で実施する専門看護師、認定看護師による専門分野コース研修の受講
 - ・鳥取大学医学部の講義等の聴講（在宅看護学、在宅看護学演習、在宅看護学実習、家族看護論、尊厳のある死と看護）
 - ・認定看護師教育課程の聴講（DVD学習）
3. 各種研修会、研究会、学会などへも参加する。
4. 訪問看護ステーション実習（5日間）・地域包括支援実習（1日間）と実習のふりかえりを通して、学習を深める。

コース内容（予定）

	科目	方法	講義	備考	
I 在宅医療の社会システム	1.地域包括ケアシステム	講義	10		
II 在宅医療に必要な病態学	2.在宅医療病態論	講義・演習	47	一部、鳥取大学医学部附属病院の看護部コース研修に参加	
III 訪問看護に必要な技能	3.在宅における医療処置管理	講義・演習	44	一部、鳥取大学医学部附属病院の看護部コース研修に参加	
	4.在宅薬剤管理	講義	8		
	5.フィジカルアセスメント	講義・演習	10		
	6.セルフケア支援	講義・演習	3		
	7.家族支援	講義	9	一部、鳥取大学医学部保健学科学部生講義に参加	
	8.エンド・オブ・ライフケア	講義	7	一部、鳥取大学医学部保健学科学部生講義に参加	
	9.対人関係	講義	7		
	10.リーダーシップ	講義 DVD学習	5		
	11.指導	講義 DVD学習	5		
	12.看護倫理	講義 DVD学習	7		
	IV 演習科目	13.在宅看護学	講義	1	鳥取大学医学部保健学科学部生講義の一部に参加
		14.在宅看護学演習	講義・演習	1	鳥取大学医学部保健学科学部生講義の一部に参加
15.在宅看護学実習		実習	4		
V 訪問看護に必要な知識習得のための研修会や学術集会	16.訪問看護に関する学会、研修会等				
	計		168		

- ・プログラムから各受講者が獲得したい能力に関連する科目を中心に30講義以上を受講します。
- ・2～3の科目には、鳥取大学医学部附属病院看護部主催の研修も含まれます。
学部講義や鳥取大学医学部附属病院看護部主催の研修会などと講義時間が重なっていることがあるためすべての内容を受けることはできません。
- ・訪問看護に関する学会、研修会等、病院内の研修・カンファレンス等への参加についても、内容・時間数に応じて30講義に含めることができます。
- ・各自が有益と考える会合に出席し、受講証明書および報告書を支援室に提出していただきます。受講時間数への換算は、参加された各研修会の内容・時間を審査して支援室が決定いたします。
- ・訪問看護ステーション実習・地域包括支援実習は30講義とは別に、受講者全員が実習をします。
- ・コース内容は予定のため、変更の可能性があります。
- ・1講義は通常90分です。

時間割（基本）

1限：9時00分～10時30分

2限：10時40分～12時10分

3限：13時00分～14時30分

4限：14時40分～16時10分

- ・修了者には、鳥取大学医学部附属病院より修了証を発行します。
また修了者で「Ⅰ在宅医療の社会システム」「Ⅱ在宅医療に必要な病態学」「Ⅲ.訪問看護に必要な技能」の各分野から1講義以上を受講した方は「T-HOC在宅支援ナース」（仮称）として認定します。

○応募手続き

1) 受講申請受付期間

I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース 基礎コース

平成 30 年 3 月 1 日（木）～平成 30 年 4 月 20 日（金）

I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース 実践コース

平成 29 年 12 月 1 日（金）～平成 30 年 3 月 30 日（金）

II 在宅医療・看護体験コース

平成 29 年 12 月 1 日（金）～平成 30 年 3 月 30 日（金）

III 訪問看護能力強化コース

平成 29 年 12 月 1 日（金）～平成 30 年 3 月 30 日（金）

（受付期間を過ぎた際はご相談ください。）

2) 提出書類

(1) 受講申込書 様式 1

(2) 履歴書 様式 2

(3) 受講承認書 様式 3 （所属長の承認を得てください。）

下記の URL から様式がダウンロードできますので、必要事項をご記入いただきお申込みください。

<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/hoc/>

3) 提出先

〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1

鳥取大学医学部附属病院 医療スタッフ研修センター 在宅医療推進支援室

電話 0859-38-6994

FAX 0859-38-6996

4) 決定通知

受講の決定は受講決定通知書を所属長宛に送付します。

発送予定 I コース 平成 30 年 4 月末

実践コース 平成 30 年 4 月中旬

II コース 平成 30 年 4 月中旬

III コース 平成 30 年 4 月中旬

(様式1)

受講申込書

鳥取大学医学部附属病院
医療スタッフ研修センター長 殿

私は、鳥取大学医学部附属病院

- () I 在宅生活志向をもつ看護師育成コース
- () I 実践コース (在宅生活志向をもつ看護師育成コース)
- () II 在宅医療・看護体験コース
- () III 訪問看護能力強化コース

において研修を受けたく、ここに必要書類を添えて申請いたします。

希望するコースに○を付けて下さい。

平成 年 月 日

ふりがな
氏 名

印

年 月 日 生

(〒 ー)

ふりがな
現住所

TEL ()

(様式 2)

履 歴 書

ふりがな
氏 名

年 月 日生

学 歴

年 月 日
年 月 日
年 月 日
年 月 日

職 歴

年 月 日
年 月 日
年 月 日
年 月 日

(様式2)

履 歴 書

ふりがな とりだい はなこ
氏 名 鳥大 花子

平成 1年11月11日生

学 歴

平成〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇県立〇〇高等学校 卒業
平成〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇大学医学部〇〇科 入学
平成〇〇年〇〇月〇〇日 同 上 卒業
平成〇〇年〇〇月〇〇日 看護師籍登録 第〇〇〇〇〇〇号

職 歴

平成〇〇年〇〇月〇〇日 県立〇〇病院 看護師 採用
平成〇〇年〇〇月〇〇日 同 上 退職
平成〇〇年〇〇月〇〇日 医療法人〇〇会〇〇病院 看護師 採用

現在に至る

(様式3)

受講承認書

平成 年 月 日

鳥取大学医学部附属病院

医療スタッフ研修センター長 殿

所属機関名

所属長名

印

下記の者が、鳥取大学医学部附属病院 在宅医療推進のための看護師育成プログラムの研修コースを受講することを承認します。

記

所属施設

所属部署

職 名

氏 名